



平成29年1月1日修正会にて修正会に参拝された檀信徒の皆さん

酉年はいつから

平成29年は、干支では丁酉ひのと・とりに当たります。

干支は中国暦に発し、十干十二支を組み合わせせて年を数えます。

十干は

甲きのえ・乙きのと・丙ひのえ・丁ひのと・戊つちのえ・己つちのと・庚かのえ・辛かのと・壬みずのえ・癸みずのと

十二支は

子ね・丑うし・寅とら・卯う・辰たつ・巳み・午うま・未ひつじ・申さる・酉とり・戌いぬ・亥い

といます。

中国暦における年の数え方ですから、中国暦の新年から酉年とりどしになるわけです。そのため旧正月の日、つまり西暦2017年1月28日から酉年です。

年末大掃除

平成28年12月18日に、華頂婦人会の役員の方に、年末の大掃除をして頂きました。

境内や墓地をきれいにして頂きました。



平成28年12月18日、華頂婦人会役員の方々に年末の大掃除をして頂きました

年末大掃除

平成28年12月18日に、総代会の方に年末の大掃除をして頂きました。

墓地の側溝掃除や本堂・玄関・鐘楼・山門などをきれいにして頂きました。



平成28年12月18日、総代会役員の皆さんに年末の大掃除をして頂きました

住職の短歌

平成28年に詠んだ短歌の続き(前回は平成28年12月号)を掲載します。

サーカスの歓声聞いて歩いてる岡崎城の中のグラウンド

名鉄の人気座席展望車過ぎ行く町の風景を見る

豆よりもチョコやチップの菓子を撒く二十年来我が家の流儀

土岐川の沿線走る車外には畦の黄色と田おこしの黒

中津川駅より北の大泉寺皆で唱える来迎和讃

晴天の立春過ぎの伊吹山僅かに残る谷線の白

澄んでいる二月なかばの富士山は空の青さと雪の白さと

人知れず静かに咲いた沈丁花僕は知ってる君の姿を

春近い名古屋の駅の摩天楼午後の日差しに反射している
伊勢の国松阪あたり車窓には収穫近いキャベツの畑
冬二月日没頃の奈良盆地黛色の西の山々
閏日の曇りの朝の伊吹山ところどころに残雪を見た
桃の花作る人から頂いた今日の節句は女子のお祭り
三月の朝陽を浴びた伊吹山光る姿は白雪のため
花麒麟刺の先には赤い花またの名前はキスミークイック
雪被る三月なかばの伊吹山麓の畑麦の苗色
岡崎の古いお寺の参道で寒緋桜の色と名を知る
春の陽のうららうららの田の道に黄色蒲公英明るい色だ
春山のあちらこちらに早咲きの桜咲いてる車窓のながめ
春の道甘い香りのフリージアそんな誘いも楽しくなるね
窓の外山口県の民家には赤褐色の陶器の瓦
九州の新幹線の案内はハングルがあり中国語あり
善導寺和讃の由来垂示あり台下の声を直接に聞く
満開の桜の中の善導寺創立記念詠唱の会
曇り空四月一日伊吹山淡い姿が慰めになる
大学の三回生に編入の二男の今日は宣誓の式
堀際の紅花常磐満作が年度始めの今日を愛でてる

寺行事案内

土曜礼拝どようらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

1月14日からは

- 後編第2章 他力往生
- 後編第3章 機教相応
- 後編第4章 特留此経
- 後編第5章 無上功德

副住職説教ふくじゅうしよくせつきょう

平成29年1月25日(水)午後7時～8時

この日は、浄土宗の開祖法然上人の祥月忌日です。法然上人は建暦2年(1212)の正月25日の正午、大谷の禅房(現在の知恩院勢至堂の場所)にてご往生なされました。お年は、お釈迦様と同じ80歳でした。法然上人のご生涯を普仙寺本堂に掛けた絵伝を指しながらお説教させていただきます。

寒念仏かんねんぶつ

平成29年1月28日(土)午前7時30分～8時

暦でいう寒中の中のお参りを、寒参り、寒詣で、寒行といいます。浄土宗では特に寒念仏と呼んで、お参りします。ぜんざいの御接待をします。

※寒中(本年は1月5日から2月3日まで)

善光寺如来縁日ぜんこうじによらいえんにち

平成29年2月8日(水)午後7時より

月並み要法にて善光寺の御詠歌をお唱えします。

月並法要つきなみほうよう

平成29年2月8日(水)午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

御忌法要ぎよきほうよう

平成29年2月25日(土)午前11時～午後3時

◇法要 午前11時～

◇法話 午後1時～2時伊賀市専念寺 宮寄美政 師

◇詠唱奉納 午後2時半～

法然上人の忌日法要を御忌ぎよきと呼びます。普仙寺ではこの地方の習慣に倣い、月遅れでお勤めします。